

保団連経営税務部緊急アンケート調査結果

調査対象: 徳島県保険医協会会員

調査期間: 2020年5月2日から14日まで

回答数: 46件(医科27件、歯科19件)

調査方法: 機関紙と一緒に郵送

発送数: 566件(医科335件、歯科231件)

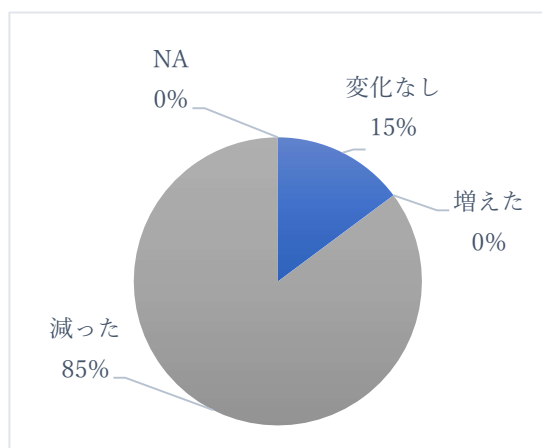
回答率: 8.1%(医科8.1%、歯科8.2%)

保団連経税部緊急アンケートで寄せられた意見

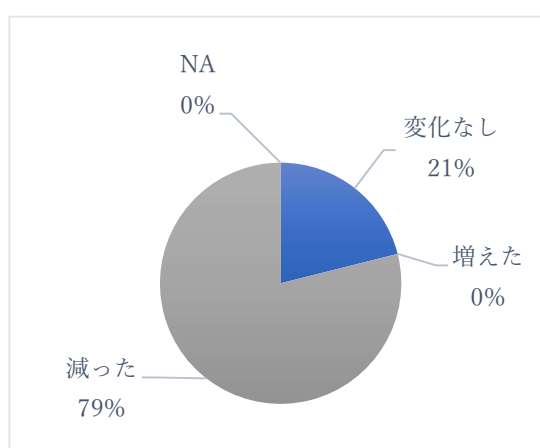
※各種設問の自由記載欄より

2. 診療状況について(前年4月との比較)

2-①. 外来患者数<<医科>>



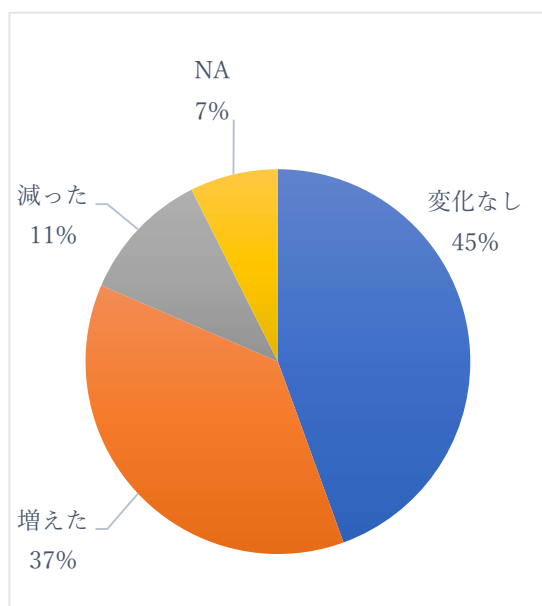
<<歯科>>



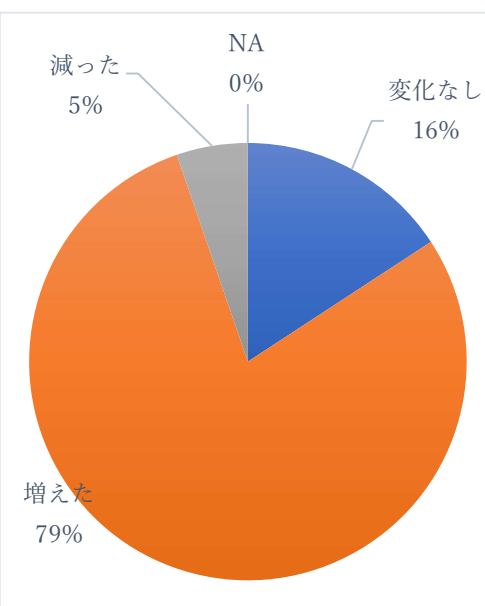
医科では65.2%の医療機関が~30%、34.8%の医療機関が~50%、歯科では80%の医療機関が~30%、6.7%の医療機関が~50%の患者が減少している。

2-②. 患者からの予約の延期やキャンセルの依頼件数

<<医科>>

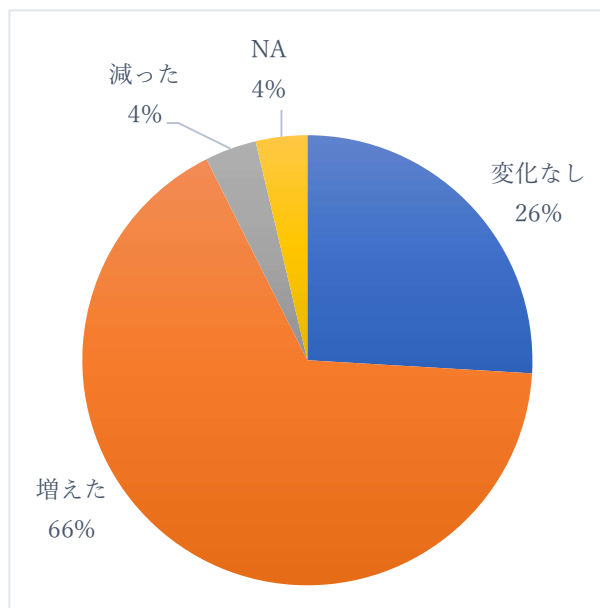


<<歯科>>

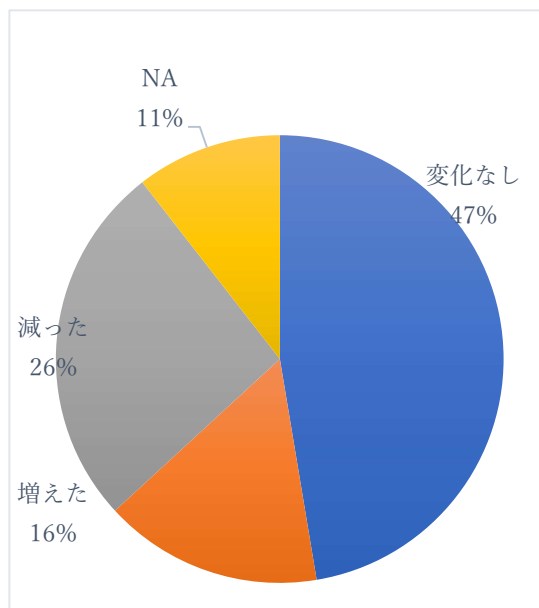


医科では 80%の医療機関が～30%、歯科では 73.3%の医療機関が～30%、13.3%の医療機関が～50%の予約キャンセルが増加している。

2-③. 電話再診件数《医科》

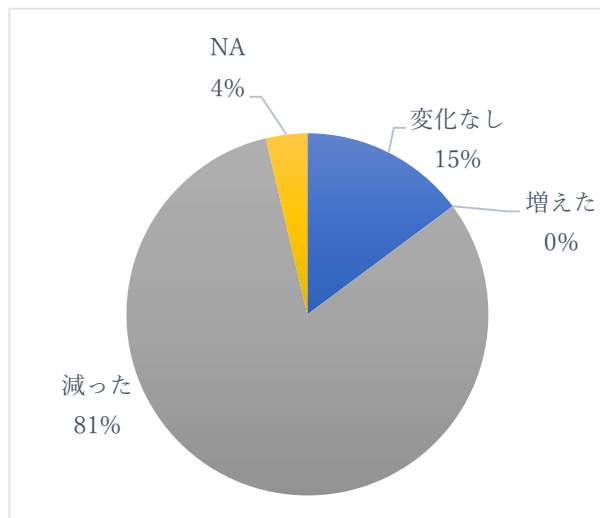


《歯科》

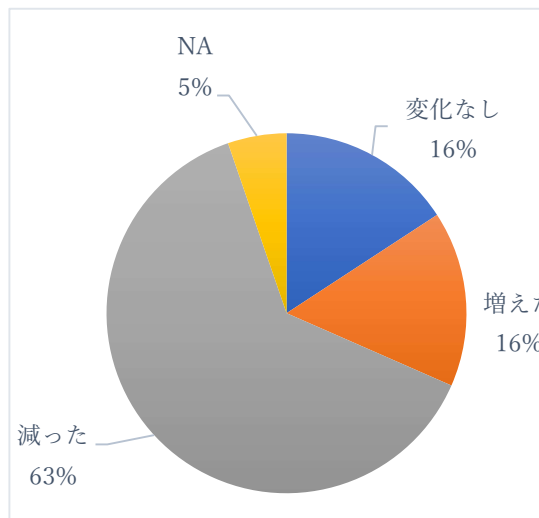


医科では 66.7%の医療機関が～30%、11.1%の医療機関が～50%、歯科では 100%の医療機関が～30%、電話再診が増えており、来院せずに相談や投薬のみとなっている。

2-④. 保険診療収入《医科》

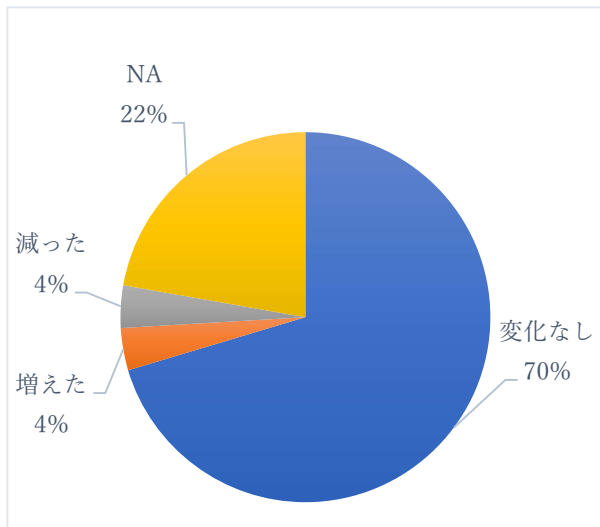


《歯科》

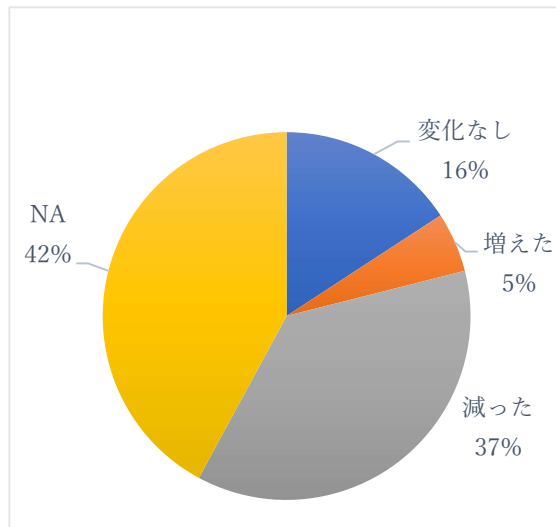


医科では 72.7%の医療機関が～30%、18.2%の医療機関が～50%、歯科では 83.3%の医療機関が～30%、診療報酬収入が減少している。

2-⑤. 在宅・訪問診療件数<<医科>>



<<歯科>>



お気づきお困り

<<医科>>

- ・必要な検査ができていない(患者の受診控えのため)
- ・「病院は危険だから近づくなと家族に云われる」という高齢者が多い。
- ・医療関係者を避ける
- ・次回は電話再診、処方箋をFAXにしてほしいと言われた。

<<歯科>>

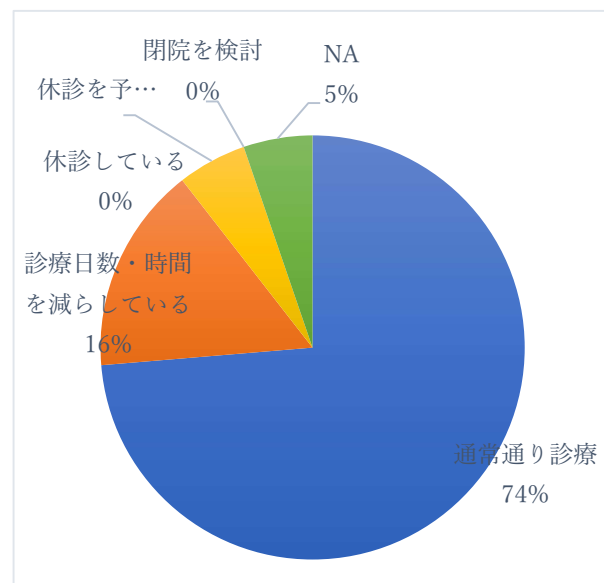
- ・歯科医療の縮小による将来経営が不安なため、診療報酬の点数を引き上げてほしい。歯科医療の維持のため。
- ・根管治療中など、継続した治療が必要な方が受診を自ら(相談なく)控えているのは困る
- ・こちらがコントロールできる方、コアまで行い、GW明けとかを行いました。休校で時間のある中高生が来院してくれたので、ひとまずの減収は避けることができました。

3. 診療の状況について

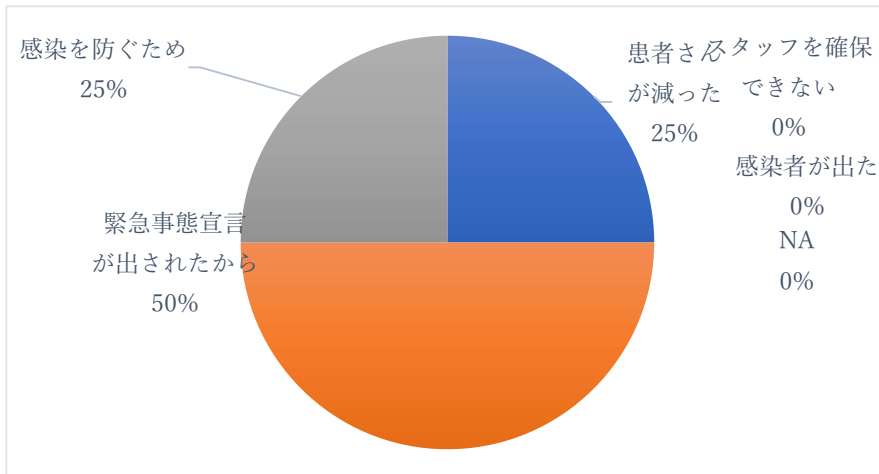
3-①休診等の対応について<<医科>>



<<歯科>>

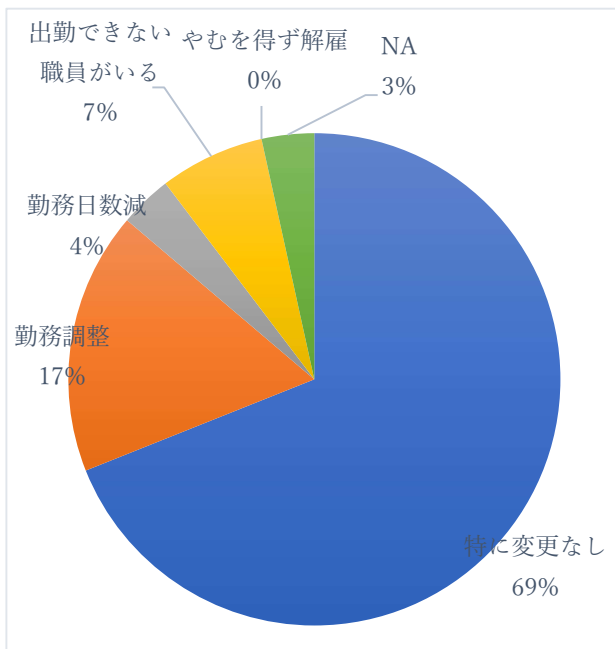


3-②休診等の理由《歯科》

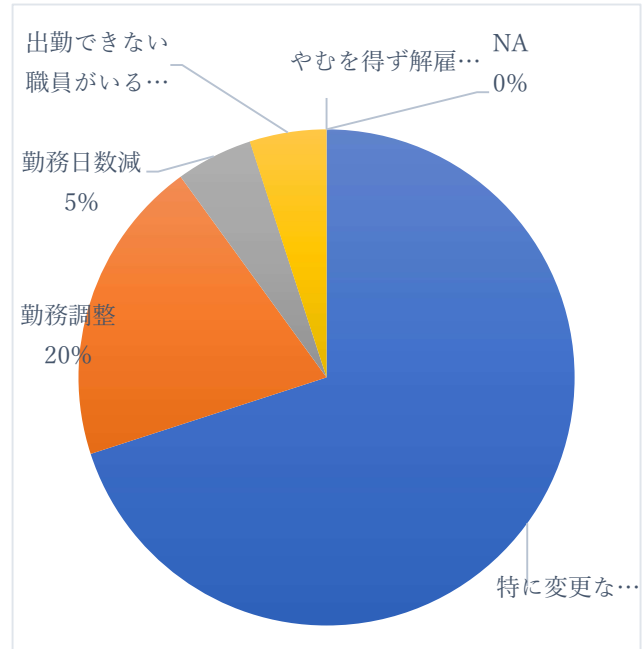


4. 医療機関スタッフの対応、勤務・出勤等の対応について(※複数回答可)

《医科》

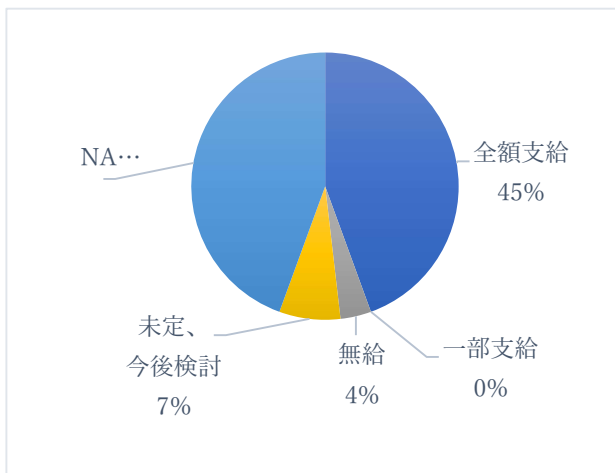


《歯科》

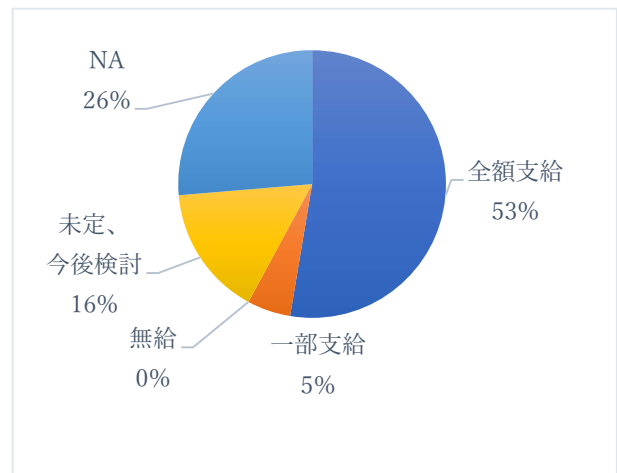


5. 医療機関スタッフの勤務時間や日数を減らした場合の給与支払について

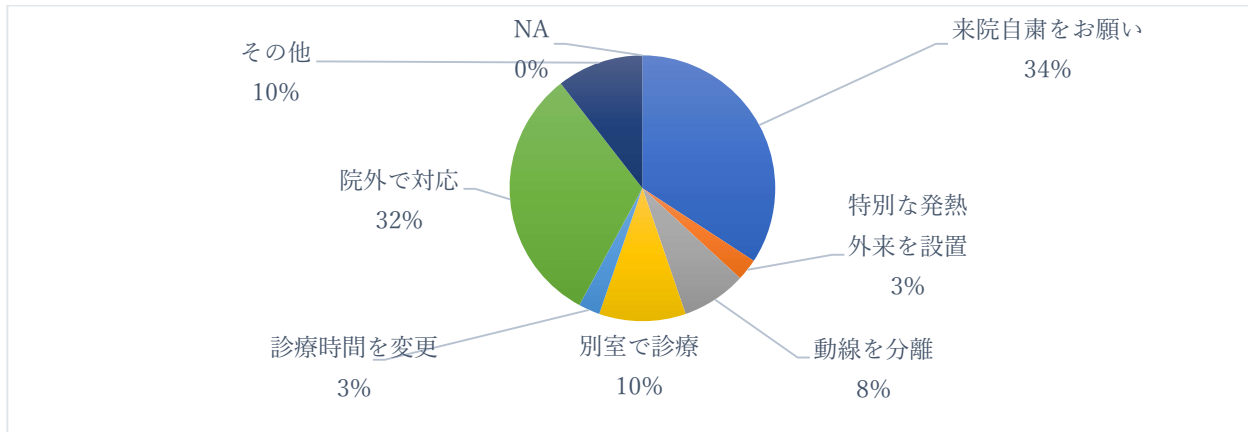
《医科》



《歯科》

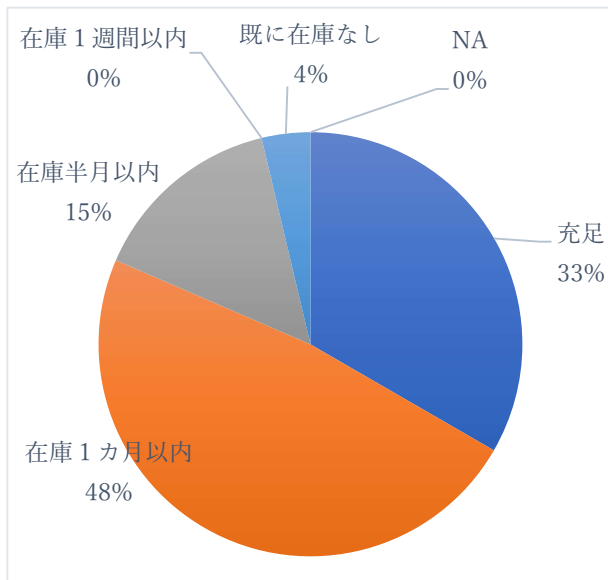


6. 発熱患者への対応(※複数回答可)※医科のみ

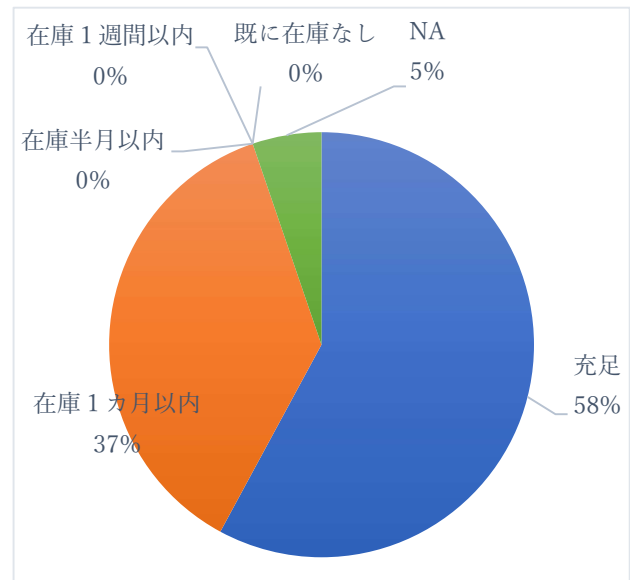


7. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況(発注中で未着のものは含まない)

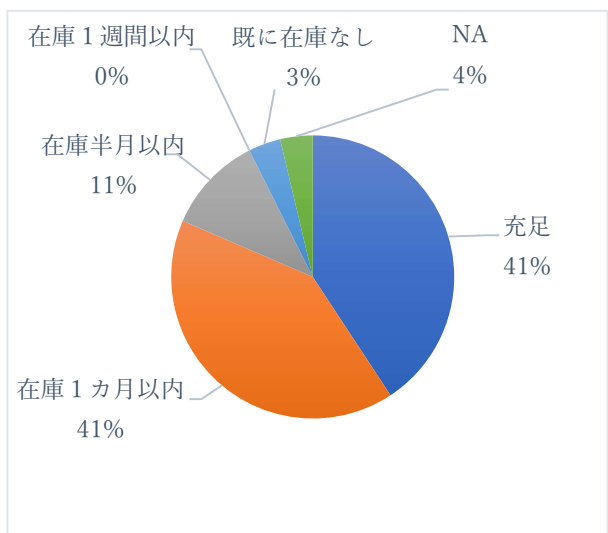
①医療用マスク 《医科》



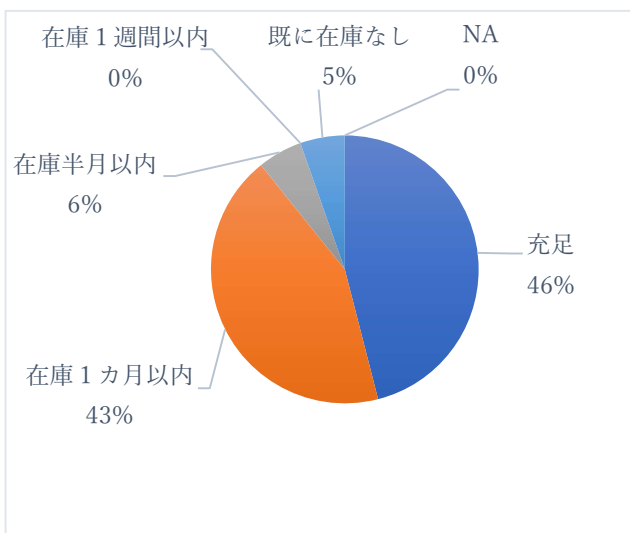
《歯科》



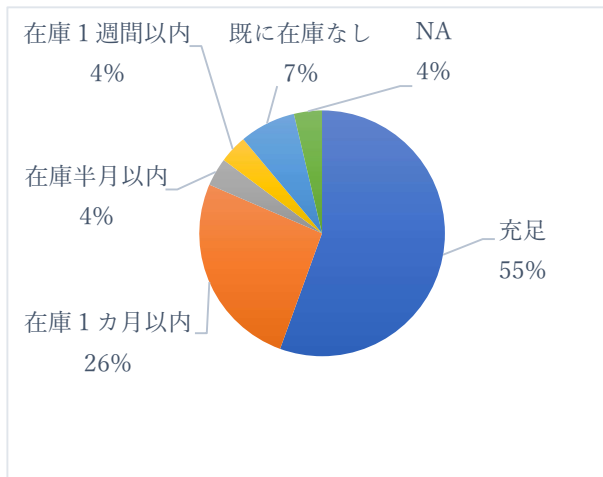
②手指消毒剤 《医科》



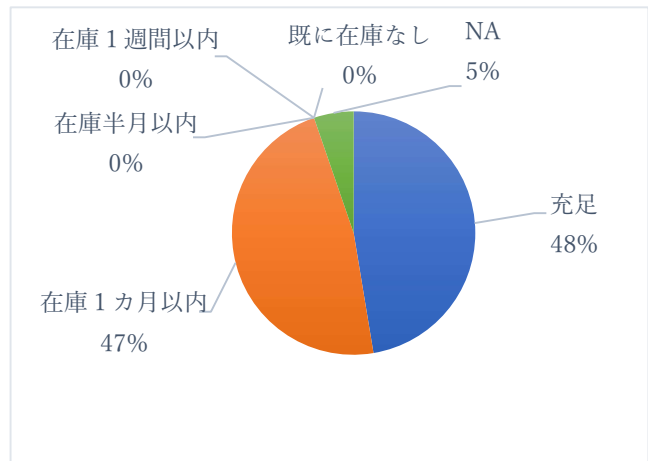
《歯科》



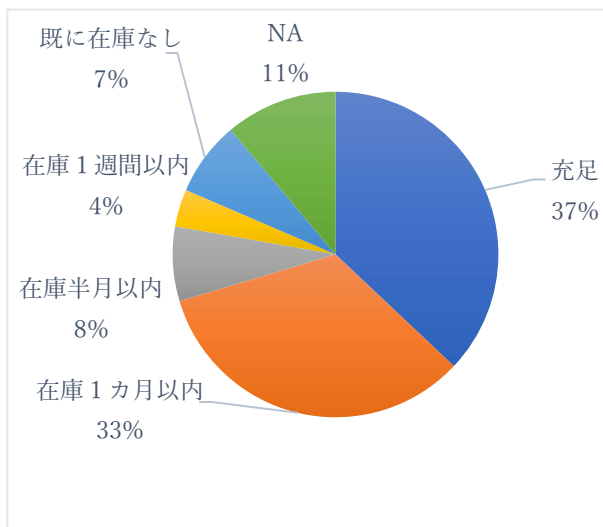
③ 機材消毒剤 << 医科 >>



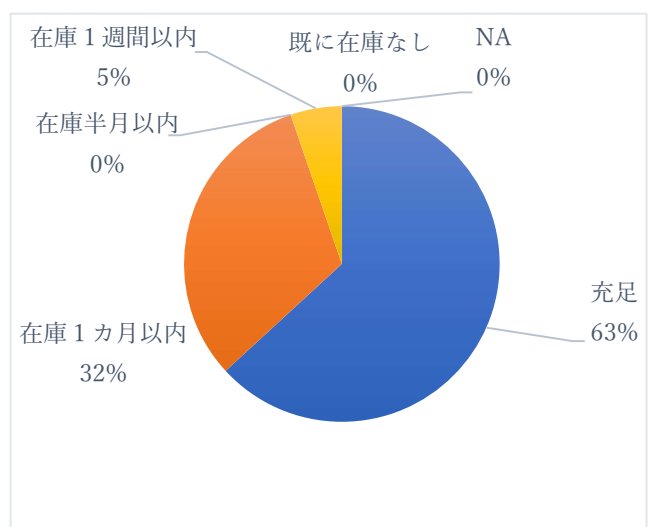
<< 歯科 >>



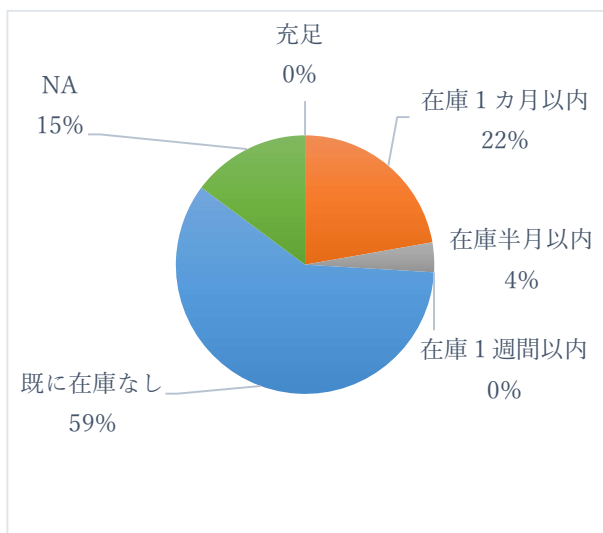
④ グローブ << 医科 >>



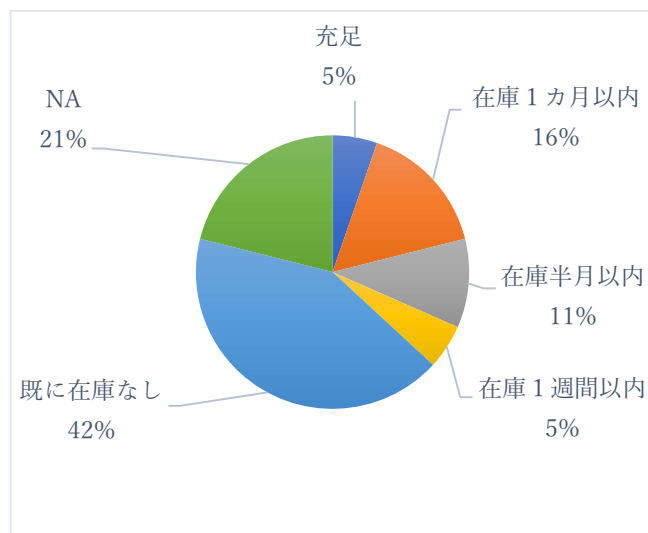
<< 歯科 >>



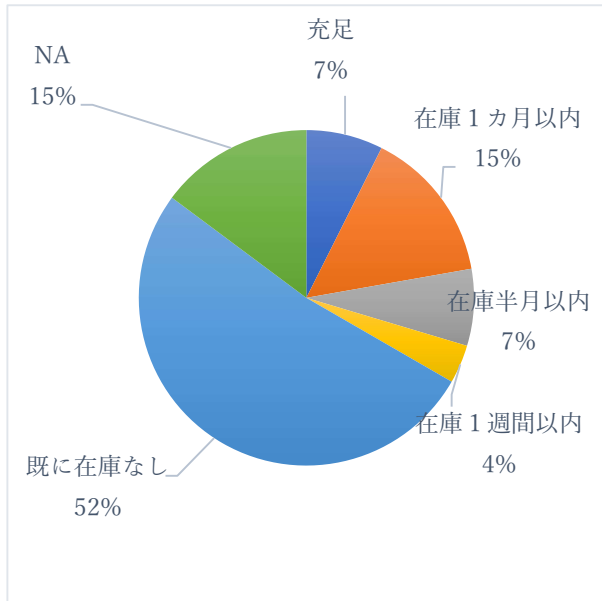
⑤ 防護服 << 医科 >>



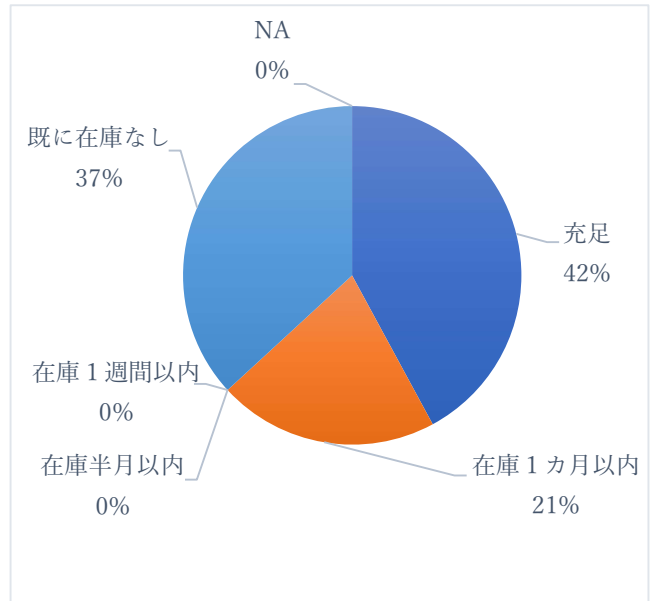
<< 歯科 >>



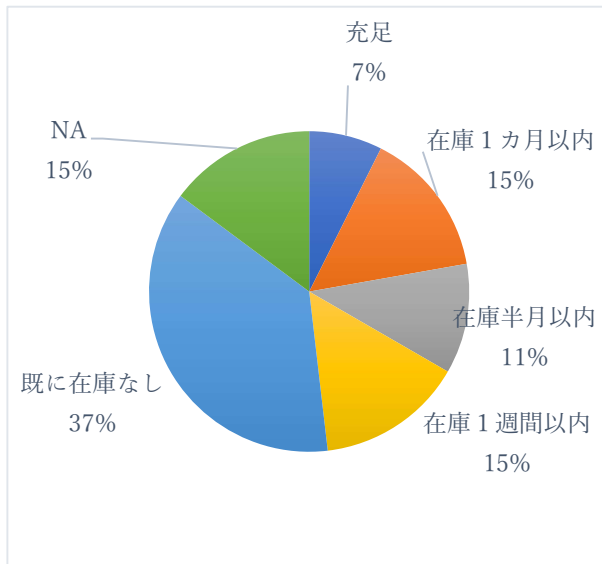
⑥ゴーグル《医科》



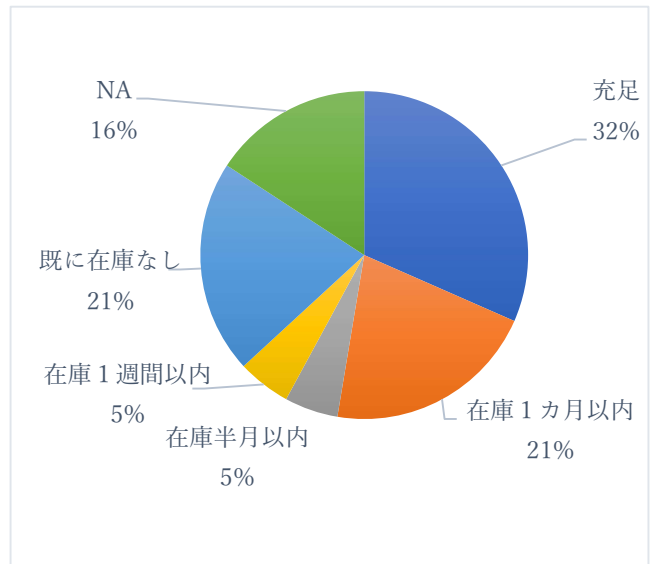
《歯科》



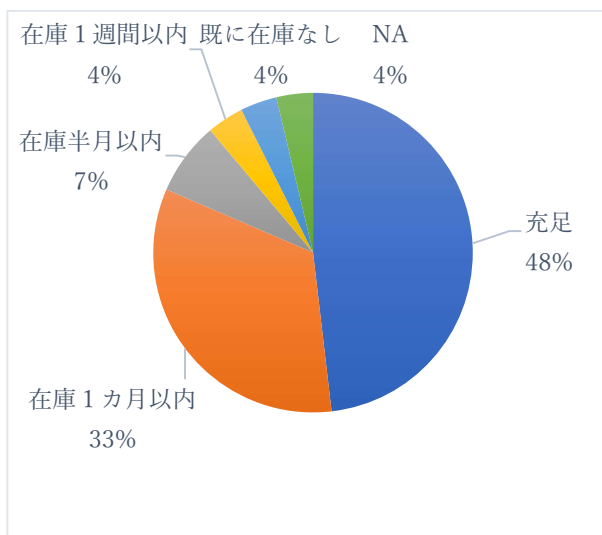
⑦フェイスシールド《医科》



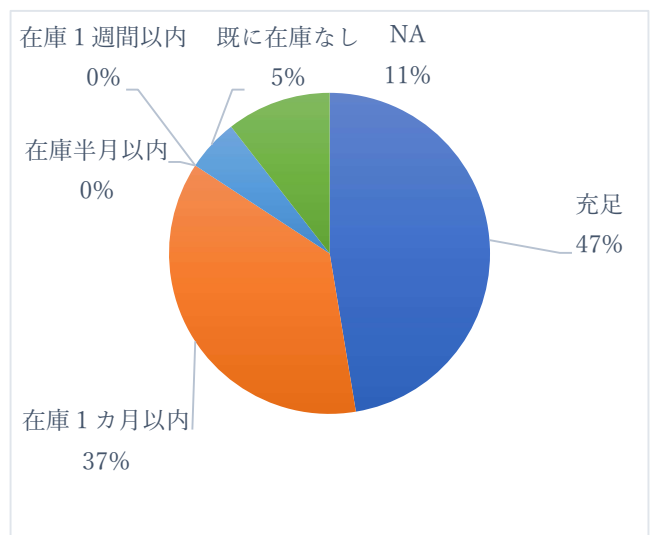
《歯科》



⑧生理食塩水、精製水《医科》

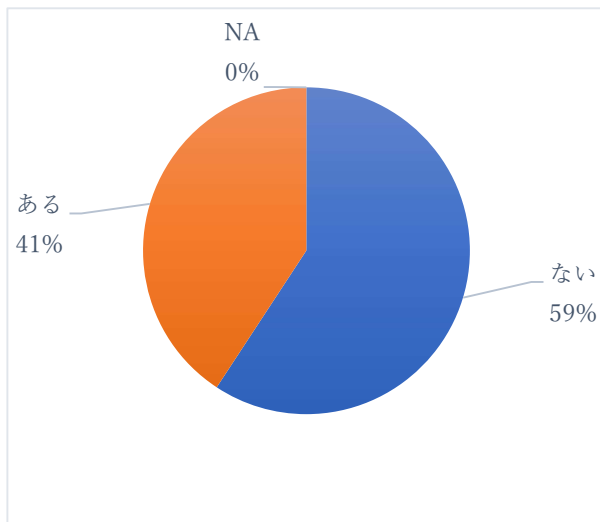


《歯科》

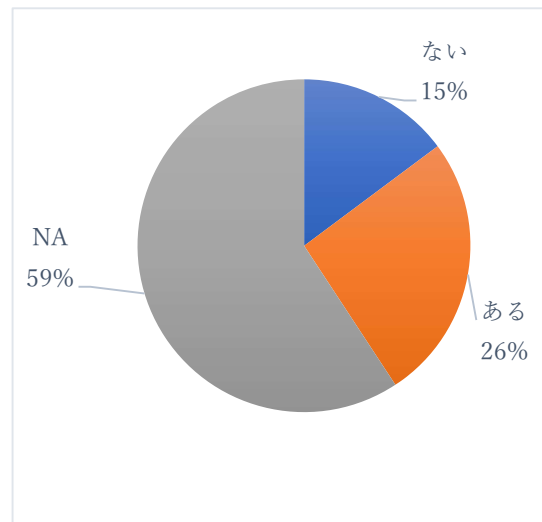


8. PCR検査について※※医科のみ

①PCR 検査の依頼

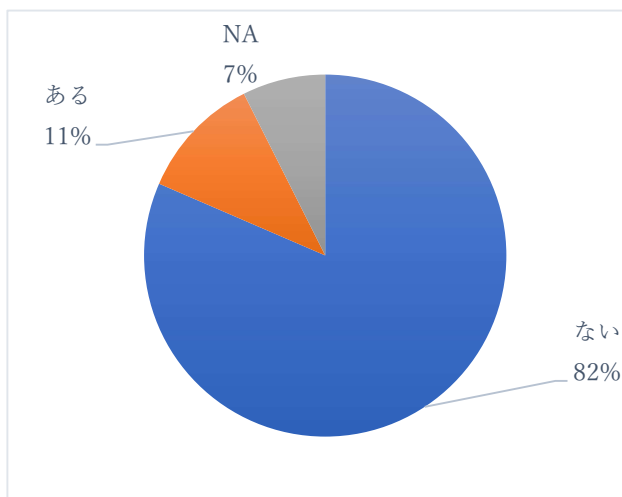


②検査を拒否された

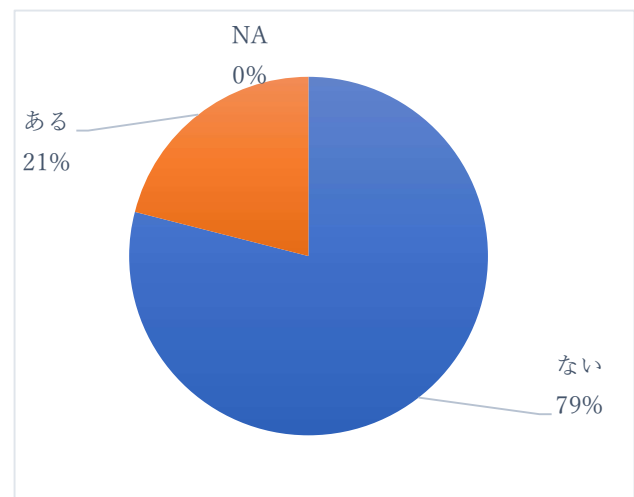


9. 新型コロナウイルスに関連して、いわゆる「風評被害」はありましたか

《医科》



《歯科》



《医科》

・(処方期間が)通常 1 か月なのですが、次回医院閉鎖していたら困るので 2 か月分ください。医院へ行くなど国が言っているので薬のみください。

- ・何か言われているかもしれないが、気にする余裕すらない。「ばい菌」の様に言われた看護師がいる
- ・SNS でと当院(当院の近辺)に感染者がいるというのが流れていたと聞く。
- ・系列病院で PCR(+)があったニュースが出た。患者から大丈夫か聞かれた。

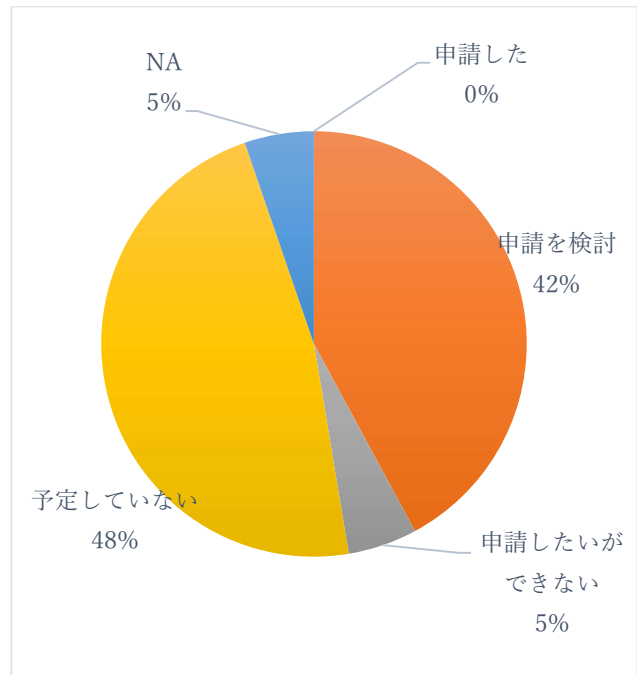
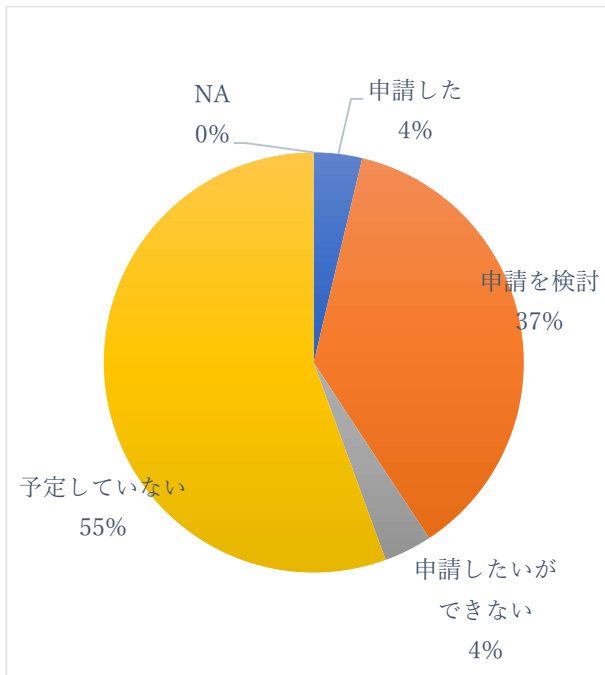
《歯科》

- ・歯科治療環境が感染しやすい場所にある
- ・歯医者は患者に接近するので怖いと何人もの患者に言われた。
- ・患者減少

10. 国・自治体等の助成金や融資について

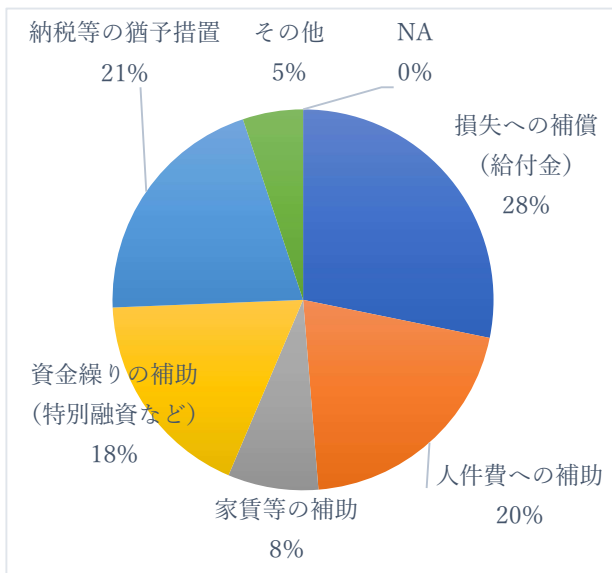
①申請する予定はありますか《医科》

《歯科》

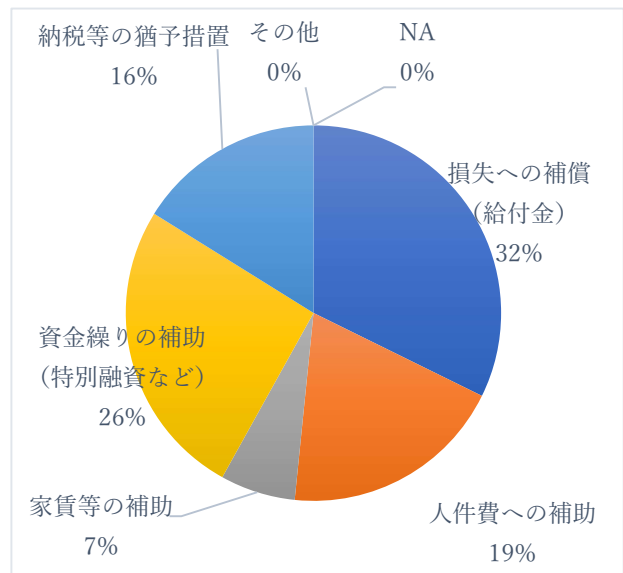


②国・自治体等に創設・拡充を希望する支援策(※複数回答可)

《《医科》》



《《歯科》》



11. 全体の意見

《《医科》》

- ・現状が続けば医院を維持できない。患者数の減少は続くと思う。個人開業医への行政支援(社保・厚生年金の猶予、人件費への援助など)が必要
- ・上記の感染防止に必要な物品が非常に入荷しにくいうえ、値段も高騰し、支出がとて大きくなっている。新型コロナの点数がついても「対価」と考えるには不足している。診療科に関係なく、大きな負担を負っている今、初再診料などの見直し改善でどの医療機関にも早いきわたる方法を考えてもらえないものだろうか。地域医療を支えている一般診療で踏ん張っている我々小さな医療機関からまず倒れる。助成金の申請で「50%減?!それはもう倒産でしょ」。
- ・院内で診察した場合の休診の必要性についての詳細な基準を知りたい。
- ・減った収入で雇用費の捻出が不安

・①PPEの配給②アビガンの使用③PCRの増加

・本来の保険点数を充実させるべき。医師の負担を軽減すべき。(PCR検査を含む)

・全医療機関への支援策が必要です。日本医師会や病院団体の強力な後押しが必要。

・コロナ対策の受付シート設置などに対する支援はあるのか知りたい。

・過疎地域はこれを機会に医療を含め社会資源の在り方を見直さなければ日本全体の崩壊につながります

・ウエルパスなどの手指消毒が不足。防護服も不足。

・患者がマスクをしていないことがよくある。診察時医師のほうへ寄ってくることもあり不安がある。

《歯科》

・診療時間外のスタッフの行動は注意喚起はできても、強制はできず困っている。

・当院は、たまたま全スタッフ小学生の子供がいるので休校手当金が使えますので、ローテーションで衛生士1名分を1日当たり減らして対応しました。先に支給した形になるので今後の支給の書類不備などがあればアドバイスをお願いできればと思います。また、フェイスシールドやアルコール使用の増加など、初再診料を30円くらいアップしてくれるとありがたいです。

・勤務医の高額な人件費の60%を休診中に出すのはきつい。

・歯科は他科に較べても感染リスク大きいと思う。(都会の先生方は特に)

・衛生用品が不足したり、県内での発生が多くなったら休業する予定です。